


武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	庁舎空調機器更新事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	総務契約課	総務係 内線 324
	根拠法令等	—		
目的	公共施設の適正な維持管理と効率的な運営を図るため、庁舎の空調機器等の設備更新を年度ごとに実施する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和4年度は冷温水発生機用冷却水ポンプ及び冷暖房機能を管理するプロテクトリレーの更新を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	空調機の稼働日数	日
			実績	225	210	
			達成率	—	—	
2	空調機の1日あたりの稼働時間	時間	目標	—	—	—
			実績	2,006	1,818	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成27年9月の決算特別委員会において、同年1月及び8月の空調機器の故障について、設備更新の必要性についての意見があった。
事業費(千円)		4,840	5,720	7,909	
財源内訳	一般財源	4,840	5,720	7,909	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		4,840	5,720	7,909	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、冷温水発生機（キャンドポンプモーター及び押込ファンモーター）更新工事を行った。	空調設備は、庁舎建設時から大規模な更新工事が行われていなかったことから、更新については、緊急性が高いと考えられる。しかし、更新工事に当たって多額の費用がかかることから、費用負担の平準化を図るため複数年に渡り業務執行を行う必要がある。

令和4年度の方針																	
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
複数年に渡り更新工事を行ってきた庁舎空調機器更新事業については、令和4年度をもって終了となる。今後は、設備の機能維持、保全のため製造業者等の意見を聴取し、必要に応じて実施計画にて要求又は修繕等に対応する。	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
		削減	維持	増加													
	向上																
	維持																
低下																	
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																	

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	文書管理システム導入事業		
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営		
	所管部署	総務部	文書法制課	文書係 内線 382
	根拠法令等	武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会設置要綱		
	目的	文書事務の管理を一元的・効率的に行うために、文書管理システムの導入の検討を行う。	SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に	
内容	文書管理を電子化する文書管理システムの導入の検討を行う。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業の推進	—
				実績	—	検討
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	80	77
人件費	所要人員(人)	0.00	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		0	80	77

市民・議会等から寄せられた意見

平成18年第1回市議会定例会の提出議案である武蔵村山市情報公開条例の総務文教委員会における審議の際、公文書目録について、容易に検索できるようにされたいとの趣旨の発言があった。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年7月に文書管理システムを導入済の近隣市を訪問し、導入経緯、運用状況、課題等について教示を受けるとともに、当該システムの利用場面を確認するため、執務スペースの視察を行った。10月に係長職の職員を主として構成する武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会を設置し、検討を開始した。11月及び令和4年1月に検討委員会を開催し、文書管理の現状、庁内における電子決裁の現状等について確認を行った。	文書管理システムと併せて導入が見込まれる電子決裁の対象範囲、庁内の既存のシステムとの連携等が課題であり、システム担当部署の積極的な関与が望まれる。また、文書管理システムは、国が推進する地方公共団体情報システムの標準化の際、ガバメントクラウドの活用の場面において、「ガバメントクラウドに構築することができるもの」と位置付けられており、導入するシステムは将来的なガバメントクラウドへの移行にも円滑に対応できるものとし、経費の二重投資とならないように留意する必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
武蔵村山市文書管理システム等導入検討委員会を5回程度開催し、システム導入の際に考慮すべき事項の検討を行い、年度内に検討結果報告書の提出を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	AI・RPA導入事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	企画財政 部	行政経営 課	情報システム 係	内線	393
	根拠法令等	—				
	目的	AI、RPA等の活用により、人が行う知的作業の代行や単純作業の削減による作業時間の短縮を行い、効率的な事業運営を行うことを目的とする。				SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	AI-OCR及びRPAを導入し、令和4年1月から運用を開始した。令和3年度は、3件の業務のRPA化等を図った。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	定型業務自動化数	件
			実績	—	3	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費(千円)		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	0	8,800	0				
	国都支出金	—	6,594	—				
	その他	—	2,206	—				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	105	258	247				
	所要人員(人)	0.01	0.03	0.03				
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0				
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00				
合計(事業費+人件費)		105	9,058	247				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施した業務は以下のとおりである。 ●償却資産申告書の受付、形式審査、システムへの入力等 ●週次で年金事務所から送付される国民年金保険料免除・納付猶予申請承認(却下)通知書発行一覧表及び国民年金保険料学生納付特例申請承認(却下)通知書発行一覧表(紙媒体)のシステムへの入力 ●新型コロナウイルスワクチン接種予診票のPDF化	RPAについては、業務を熟知し、ロボット(システム)を動かすシナリオの作成やメンテナンスできる職員を育成することが必要である。 また、AI-OCRについては、文字の読取精度が十分でなく、内容の確認や読み込んだ文字の修正に時間を要しているため、識字率の向上が課題である。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 AI-OCR及びRPAライセンスの利用期間が終了する令和5年度までに15以上の業務での活用を予定している。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持	○			低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持	○																			
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	無停電電源装置部品更新事業				
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営				
	所管部署	企画財政 部	行政経営 課	情報システム 係	内線	393
	根拠法令等	—				
	目的	平成23年度に本庁地下に設置した無停電電源装置（以下「UPS」という。）の各部品が耐用年数を超えて稼働していることから、今後の安定的な運用のため、部品を交換するものである。				SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	耐用年数を超えて稼働している各部品の交換を行った。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	部品交換完了状況	—	目標	—	完了	—
				実績	—	完了	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	0	15,543	0				
	国都支出金	-	0	-				
	その他	-	0	-				
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0				
人件費	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		0	15,543	0				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
耐用年数を超えて稼働している以下の部品の交換を行った。 ●冷却ファン ●電磁接触器 ●電解コンデンサ ●制御電源 ●制御用ヒューズ ●制御用リレーユニット ●制御用操作ユニット ●蓄電池（バッテリー）	UPSは、停電等の不測の事態が生じた場合にサーバの正常なシャットダウン等を行うための電源装置で、これがないと正常にシャットダウンできず、重要なデータを消失してしまう可能性等があり、システムの運営に不可欠な重要な装置である。 UPSの各部品の耐用年数は5～7年程度となっており、定期的に交換を行わなければならないが、これには多額の費用がかかるため、費用の平準化が必要である。

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和3年度に各部品の交換を行ったが、今後も部品の耐用年数を踏まえ、定期的な交換を行っていく。				
成果	今後の方針			
		コスト		
		削減	維持	増加
	向上			
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）